

血と骨 (2004)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 144分
初公開日 2004/11/06
公開情報 松竹=ザナドゥー
映倫 R-15

【キャッチコピー】

血は母より、骨は父より受け継ぐ

【解説】

おのれの肉体のみを信じ、動乱の時代を傍若無人に駆け抜けたひとりの朝鮮移民の壮絶な生き様とその家族の姿を力強く描いた人間ドラマ。「月はどっちに出ている」の著者・梁石日が自らの父親をモデルに著わした同名ベストセラー小説を映画化。監督は「クイール」の崔洋一。主演は、自身の監督作以外では久々の映画主演となるビートたけし。共演に「39 刑法第三十九条」の鈴木京香。

1923年、大阪。ある日、濟州島からの出稼ぎ労働者が住まう朝鮮人集落にやって来た少年・金俊平。彼も他の朝鮮移民と同じく日本で一旗揚げることを夢みて渡ってきたが、やがてその強靱な肉体と並外れた凶暴さでのし上がっていき、周囲に恐れられるようになる。その間、幼い娘を抱えながらけなげに生きていた李英姫と結婚し、2人の間に子どもも生まれ、開業した蒲鉾工場も繁盛する俊平。しかしながら俊平の粗暴な振る舞いは修まることはなく、家族でさえエスカレートする彼の暴挙にただ怯えるばかりだった…。

【クレジット】

監督	崔洋一	
製作	若杉正明	
企画	若杉正明	
プロデューサー	榎望	
原作	梁石日	『血と骨』 (幻冬舎文庫 刊)
脚本	崔洋一 鄭義信	
撮影	浜田毅	
美術	磯見俊裕	
衣装デザイン	小川久美子	
編集	奥原好幸	
音楽	岩代太郎	
音楽プロデューサー	佐々木次彦	
照明	高屋齋	
録音	武進	
制作プロダクション	ビーワイルド	
出演	ビートたけし Beat Takeshi 金俊平	

鈴木京香	李英姬
新井浩文	金正雄
田畑智子	金花子
オダギリジョー	朴武
松重豊	高信義
中村優子	山梨清子
唯野未歩子	金春美
濱田マリ	鳥谷定子
柏原収史	張賛明
塩見三省	大山（金成貴）
北村一輝	元山吉男
國村隼	趙永生
寺島進	朴希範
伊藤淳史	龍一／俊平の少年時代
仁科貴	金容洙
佐藤貢三	金泰洙
中村麻美	大谷早苗